



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201

URL <https://www.morinaga.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新井 徹

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 国近 文子 (TEL) 03-3456-0150

四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|--------|------|--------|------|------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 158,496 | 0.4 | 17,214 | △0.1 | 17,732 | △0.0 | 12,308 | 2.2 |
| 30年3月期第3四半期 | 157,918 | 4.7 | 17,232 | 2.1 | 17,740 | 2.4 | 12,044 | 2.6 |

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 5,841百万円(△63.2%) 30年3月期第3四半期 15,863百万円(6.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第3四半期 | 236.69 | — |
| 30年3月期第3四半期 | 231.49 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 183,164 | 103,518 | 55.8 |
| 30年3月期 | 177,920 | 100,331 | 55.0 |

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 102,172百万円 30年3月期 97,886百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用したことに伴い、前連結会計年度末の総資産及び自己資本比率についても、新たな表示方法に従い、組換え後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 |
| 31年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 31年3月期(予想) | — | — | — | 50.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 205,700 | 0.3 | 20,000 | 1.3 | 20,500 | 0.4 | 13,800 | 34.1 | 265.36 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 31年3月期3Q | 54,189,769株 | 30年3月期 | 54,189,769株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年3月期3Q | 2,187,501株 | 30年3月期 | 2,184,000株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 31年3月期3Q | 52,003,761株 | 30年3月期3Q | 52,032,657株 |

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (31年3月期3Q 27,300株、30年3月期 一株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (連結損益計算書関係) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 10 |
| 3. 補足情報 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、主力の食料品製造事業が前年同期実績を上回り、全体では1,584億9千6百万円と前年同期実績に比べ5億7千8百万円(0.4%)の増収となりました。

損益は、売上高の増収に加え、売上原価率の改善等に取り組みましたが、広告宣伝費及び物流費の増加等により、営業利益は前年同期実績に比べ1千8百万円(0.1%)減益の172億1千4百万円、経常利益は前年同期実績並みの177億3千2百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ2億6千4百万円(2.2%)増益の123億8百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内では、主力ブランドの「チョコボール」や「ミルクキャラメル」「森永ビスケット」「おっとっと」が前年同期実績を上回りました。「ダース」や「ハイチュウ」は前年同期実績並み、「森永ココア」は前年同期実績を下回りましたが、主力ブランド全体では前年同期実績を上回りました。

その他のブランドでは、急伸長していたハイカカオ市場の一巡により需要の停滞がみられた「カレ・ド・ショコラ」や、前年の大幅な売上拡大の反動により「プリングルズ」が減収となり、国内全体では前年同期実績を下回りました。

海外では、米国、中国は前年同期実績を上回りましたが、インドネシア、台湾が前年同期実績を下回り、海外全体では前年同期実績を下回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は909億4千4百万円と前年同期実績に比べ5億9千万円(0.6%)減となりました。

冷菓部門

主力ブランドの「ジャンボ」グループは、「チョコモナカジャンボ」と「バニラモナカジャンボ」が引き続き好調に推移しました。その他のブランドでは、「パリパリバー」等のマルチパック商品も前年同期実績を上回りました。しかしながら、連結子会社である森永エンゼルデザート(株)の冷凍デザート事業を廃止した影響等により、冷菓部門全体の売上高は309億8千1百万円と前年同期実績に比べ1億8千3百万円(0.6%)減となりました。

健康部門

主力ブランドの「i nゼリー」は、競合商品の参入による影響も受けましたが、夏場の猛暑や暖冬による需要拡大、昨年3月に発売した「i nゼリー<マルチビタミンカロリーゼロ>」が好調に推移したことで、前年同期実績を上回りました。「天使の健康」シリーズの通販事業は、「おいしいコラーゲンドリンク」が好調に推移し、通販事業全体で前年同期実績を上回りました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は296億1千4百万円と前年同期実績に比べ14億5千6百万円(5.2%)増となりました。

[主な商品の前年同期実績比 (単位：%)]

| 菓子食品部門 | | 冷菓部門 | |
|-----------|-----|---------------|-----|
| ミルクキャラメル | 102 | ジャンボグループ | 108 |
| 森永ビスケット | 103 | マルチパック | 101 |
| チョコボール | 116 | 健康部門 | |
| ダース | 99 | i nゼリー | 104 |
| ハイチュウ | 100 | おいしいコラーゲンドリンク | 109 |
| おととと | 102 | パセノール™ 関連商品 | 92 |
| 森永ココア | 85 | | |
| 菓子食品主力品計 | 101 | | |
| カレ・ド・ショコラ | 96 | | |

※表内の数値は国内売上にて算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は1,515億4千万円と前年同期実績に比べ0.5%増となりました。セグメント利益は167億7千2百万円と前年同期実績に比べ2千4百万円の減益となりました。

＜食料卸売事業＞

売上高は、50億7千万円と前年同期実績に比べ0.3%減となりました。セグメント利益は4億円と前年同期実績に比べ1千万円の減益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、連結子会社であった森永エンゼルカントリー(株)の事業譲渡に伴い、14億5千6百万円と前年同期実績に比べ8.3%減となりました。セグメント利益は6億3千3百万円と前年同期実績に比べ1億1千5百万円の増益となりました。

＜その他＞

売上高4億2千9百万円、セグメント利益5千6百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,831億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億4千4百万円増加しております。主な要因は、投資有価証券が減少した一方で、受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は796億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億5千7百万円増加しております。主な要因は、繰延税金負債が減少した一方で、支払手形及び買掛金や未払法人税等が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,035億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億8千7百万円増加しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金や非支配株主持分が減少した一方で、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.8ポイント増加し、55.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年11月9日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 35,938 | 44,930 |
| 受取手形及び売掛金 | 24,848 | 28,416 |
| 商品及び製品 | 9,781 | 10,469 |
| 仕掛品 | 922 | 579 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,835 | 6,244 |
| その他 | 3,758 | 4,011 |
| 貸倒引当金 | △5 | △5 |
| 流動資産合計 | 80,077 | 94,646 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 20,575 | 18,355 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 15,287 | 15,595 |
| 土地 | 24,407 | 24,291 |
| その他（純額） | 1,872 | 2,127 |
| 有形固定資産合計 | 62,142 | 60,369 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 490 | 417 |
| その他 | 268 | 237 |
| 無形固定資産合計 | 758 | 654 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 28,642 | 21,334 |
| 退職給付に係る資産 | 3,455 | 3,425 |
| 繰延税金資産 | 824 | 818 |
| その他 | 2,086 | 1,983 |
| 貸倒引当金 | △68 | △67 |
| 投資その他の資産合計 | 34,940 | 27,494 |
| 固定資産合計 | 97,842 | 88,518 |
| 資産合計 | 177,920 | 183,164 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 20,581 | 23,836 |
| 短期借入金 | 1,265 | 1,040 |
| 未払金 | 10,762 | 9,900 |
| 未払法人税等 | 2,518 | 3,635 |
| 賞与引当金 | 2,510 | 1,310 |
| その他 | 11,019 | 14,042 |
| 流動負債合計 | 48,657 | 53,765 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,000 | 10,000 |
| 繰延税金負債 | 6,109 | 2,763 |
| 役員退職慰労引当金 | 80 | — |
| 役員株式給付引当金 | — | 14 |
| 環境対策引当金 | 370 | 361 |
| 退職給付に係る負債 | 7,759 | 8,110 |
| 資産除去債務 | 115 | 117 |
| 受入敷金保証金 | 3,821 | 3,733 |
| その他 | 674 | 779 |
| 固定負債合計 | 28,931 | 25,880 |
| 負債合計 | 77,589 | 79,646 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 18,612 | 18,612 |
| 資本剰余金 | 17,187 | 17,281 |
| 利益剰余金 | 46,853 | 56,562 |
| 自己株式 | △2,782 | △2,893 |
| 株主資本合計 | 79,871 | 89,562 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,772 | 10,558 |
| 繰延ヘッジ損益 | △17 | 5 |
| 為替換算調整勘定 | 775 | 594 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,485 | 1,450 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18,015 | 12,609 |
| 非支配株主持分 | 2,444 | 1,346 |
| 純資産合計 | 100,331 | 103,518 |
| 負債純資産合計 | 177,920 | 183,164 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 157,918 | 158,496 |
| 売上原価 | 76,862 | 75,615 |
| 売上総利益 | 81,055 | 82,881 |
| 販売費及び一般管理費 | 63,823 | 65,667 |
| 営業利益 | 17,232 | 17,214 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 17 | 12 |
| 受取配当金 | 365 | 403 |
| その他 | 319 | 227 |
| 営業外収益合計 | 702 | 642 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 86 | 37 |
| 持分法による投資損失 | 17 | 17 |
| 減価償却費 | 22 | 37 |
| その他 | 67 | 32 |
| 営業外費用合計 | 194 | 124 |
| 経常利益 | 17,740 | 17,732 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 33 | 694 |
| 投資有価証券売却益 | — | 36 |
| 関係会社株式売却益 | 86 | — |
| 特別利益合計 | 120 | 730 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 183 | 257 |
| 減損損失 | 63 | 2,028 |
| 特別退職金 | 74 | — |
| その他 | 6 | 0 |
| 特別損失合計 | 327 | 2,285 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 17,534 | 16,177 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,808 | 5,935 |
| 法人税等調整額 | 1,727 | △1,188 |
| 法人税等合計 | 5,536 | 4,747 |
| 四半期純利益 | 11,997 | 11,429 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △47 | △879 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 12,044 | 12,308 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 11,997 | 11,429 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,072 | △5,224 |
| 繰延ヘッジ損益 | 6 | 22 |
| 為替換算調整勘定 | △200 | △363 |
| 退職給付に係る調整額 | △40 | △34 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 28 | 12 |
| その他の包括利益合計 | 3,866 | △5,588 |
| 四半期包括利益 | 15,863 | 5,841 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 15,946 | 6,902 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △82 | △1,061 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(業績連動型株式報酬制度)

当社は、平成30年6月28日開催の第170期定時株主総会において、当社の取締役(社外取締役及び国内非居住者を除く。以下、同じ。)を対象として、取締役の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度(以下、「本制度」という。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、役員報酬B I P (Board Incentive Plan) 信託(以下、「B I P 信託」という。)と称される仕組みを採用いたしました。当社は、取締役の退任後(死亡により退任を含む。)に、役位及び会社業績目標の達成度等に応じ、B I P 信託により取得した当社株式及び当社株式の換価処分金相当額の金銭を交付及び給付いたします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は129百万円及び27,300株であります。

(連結損益計算書関係)

減損損失

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

| 場所 | 用途 | 種類及び減損損失(百万円) | | | |
|--------------------|-------|---------------|-----------|-----|-------|
| | | 建物及び構築物 | 機械装置及び運搬具 | その他 | 合計 |
| インドネシア ジャワテンガ州他 | 製造設備等 | 780 | 714 | 122 | 1,616 |
| 長野県茅野市 | 賃貸用資産 | 141 | — | 270 | 411 |

(資産のグルーピングの方法)

当社グループは、事業用資産については、事業の種類別セグメントを基礎に独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位を識別し、資産のグルーピングを行っております。賃貸用資産については、物件ごとにグルーピングしております。

(減損損失の認識に至った経緯)

投資に見合う回収が不可能と判断されることから、回収可能価額まで帳簿価額を減額しております。

(回収可能価額の算定方法)

製造設備等については、正味売却価額により測定しており、市場価格等により合理的に算定しております。

賃貸用資産については、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローの見込みに基づき、回収可能価額を零と評価しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|--------------|------------|-------|-------------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 食料品 製 造 | 食料卸売 | 不動産 及び サービス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 150,856 | 5,083 | 1,588 | 157,528 | 389 | 157,918 | — | 157,918 |
| セグメント間の内部売上高 | 362 | 231 | 405 | 999 | 1,062 | 2,061 | △2,061 | — |
| 計 | 151,218 | 5,315 | 1,994 | 158,528 | 1,451 | 159,979 | △2,061 | 157,918 |
| セグメント利益 | 16,796 | 410 | 518 | 17,725 | 60 | 17,785 | △553 | 17,232 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△553百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△568百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|--------------|------------|-------|-------------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 食料品 製 造 | 食料卸売 | 不動産 及び サービス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 151,540 | 5,070 | 1,456 | 158,067 | 429 | 158,496 | — | 158,496 |
| セグメント間の内部売上高 | 389 | 165 | 353 | 907 | 1,054 | 1,962 | △1,962 | — |
| 計 | 151,929 | 5,236 | 1,809 | 158,975 | 1,483 | 160,459 | △1,962 | 158,496 |
| セグメント利益 | 16,772 | 400 | 633 | 17,806 | 56 | 17,862 | △648 | 17,214 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△648百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△662百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来セグメント利益の調整額に含まれていたのれん償却額について、当該のれんが帰属するセグメントに係る費用として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

(単位:百万円)

| | 食料品製造 | 食料卸売 | 不動産 及びサービス | その他 | 調整額 | 合計 |
|------|-------|------|---------------|-----|-----|-------|
| 減損損失 | 1,616 | — | 411 | — | — | 2,028 |

(重要な後発事象)

当社は、連結子会社である森永キノインドネシア(株)(以下、MKI)の株式の全部をPT. Kino Indonesia Tbk(以下、Kino社)に譲渡する契約を平成30年10月9日付で同社との間で締結し、平成31年1月14日に株式譲渡が完了いたしました。

(1) 株式譲渡の理由

当社は平成25年11月、インドネシア市場の早期開拓とハラル商品の生産拠点の獲得を目的として、インドネシアで菓子事業を展開するKino社との合弁によりMKIを設立いたしました。

しかしながら、近年はMKIの支柱事業である粉飲料の市場が急速に縮小したことで、MKIの業績は進出当時の売上・利益目標から乖離する状態が続いておりました。

このような現状を踏まえ、相互に協議を続けた結果、Kino社へ合弁会社を引き継ぐことが最適という合意に至りましたため、当社が保有する全ての株式をKino社に譲渡し、合弁契約を解消いたしました。

今後もKino社との友好的な関係は保ちながら、東南アジアの菓子市場の獲得を図ってまいります。

(2) 譲渡する相手会社の名称

PT. Kino Indonesia Tbk

(3) 譲渡の時期

平成31年1月14日

(4) 当該子会社の名称、事業内容、当社との取引内容及び最近の経営成績

- ①名称 森永キノインドネシア(株)
 ②事業内容 粉ジュース、菓子等の製造販売
 ③当社との取引内容 当社との間に取引関係はありません。
 ④最近の経営成績

| 決算期 | 2014年12月期 | 2015年12月期 | 2016年12月期 | 2017年12月期 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 (百万ルピア) | 755,445 | 539,877 | 651,565 | 459,995 |
| ※円換算 (期末レート) | 7,266百万円 | 4,539百万円 | 5,616百万円 | 3,652百万円 |

(5) 譲渡株式数、譲渡前後の所有株式の状況及び譲渡損益

- ①譲渡前の所有株式数 72,857株(議決権所有割合:51%)
 ②譲渡株式数 72,857株
 ③譲渡後の所有株式数 0株(議決権所有割合:—%)
 ④譲渡損益 軽微であります。

(6) 今後の見通し

株式譲渡により、当該子会社は連結子会社ではなくなりますが、当該子会社の異動に伴う当社連結業績に与える影響は軽微であります。

3. 補足情報

① 業績

(単位:百万円)

| | 平成30年3月期 第3四半期 | | 平成31年3月期 第3四半期 | | 前期比較 | | |
|---------------------|----------------|--------------|----------------|--------------|---------|--------------|---------|
| | 金額 | 売上高 比率(%) | 金額 | 売上高 比率(%) | 金額 | 売上高 比率(%) | 増減率(%) |
| 売上高 | 157,918 | | 158,496 | | 578 | | 0.4 |
| 売上原価 | 76,862 | 48.7 | 75,615 | 47.7 | ▲ 1,247 | △ 1.0 | △ 1.6 |
| 販売費及び一般管理費 | 63,823 | 40.4 | 65,667 | 41.4 | 1,844 | 1.0 | 2.9 |
| 販売促進費 | 31,560 | 20.0 | 32,009 | 20.2 | 449 | 0.2 | 1.4 |
| 広告宣伝費 | 5,855 | 3.7 | 6,717 | 4.2 | 862 | 0.5 | 14.7 |
| 運賃 | 6,905 | 4.4 | 7,229 | 4.6 | 324 | 0.2 | 4.7 |
| その他 | 19,501 | 12.3 | 19,710 | 12.4 | 209 | 0.1 | 1.1 |
| 営業利益 | 17,232 | 10.9 | 17,214 | 10.9 | ▲ 18 | △ 0.0 | △ 0.1 |
| 営業外収益 | 702 | 0.4 | 642 | 0.4 | ▲ 60 | △ 0.0 | △ 8.5 |
| 営業外費用 | 194 | 0.1 | 124 | 0.1 | ▲ 70 | △ 0.0 | △ 36.1 |
| 経常利益 | 17,740 | 11.2 | 17,732 | 11.2 | ▲ 8 | △ 0.0 | △ 0.0 |
| 特別利益 | 120 | 0.1 | 730 | 0.5 | 610 | 0.4 | 505.2 |
| 特別損失 | 327 | 0.2 | 2,285 | 1.4 | 1,958 | 1.2 | 598.8 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 17,534 | 11.1 | 16,177 | 10.2 | ▲ 1,357 | △ 0.9 | △ 7.7 |
| 法人税等 | 5,536 | 3.5 | 4,747 | 3.0 | ▲ 789 | △ 0.5 | △ 14.3 |
| 四半期純利益 | 11,997 | 7.6 | 11,429 | 7.2 | ▲ 568 | △ 0.4 | △ 4.7 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(▲) | ▲ 47 | △ 0.0 | ▲ 879 | △ 0.6 | ▲ 832 | △ 0.6 | 1,753.3 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 12,044 | 7.6 | 12,308 | 7.8 | 264 | 0.2 | 2.2 |

② セグメント情報

(単位:百万円)

| 事業 | 平成30年3月期 第3四半期 | 平成31年3月期 第3四半期 | 前期比較 | 前期比(%) |
|-----------|-------------------|-------------------|-------|--------|
| 食品製造 | | | | |
| 売上高 | 150,856 | 151,540 | 684 | 100.5 |
| (売上高構成比) | (95.5%) | (95.6%) | | |
| セグメント利益 | 16,796 | 16,772 | ▲ 24 | 99.9 |
| 食料卸売 | | | | |
| 売上高 | 5,083 | 5,070 | ▲ 13 | 99.7 |
| (売上高構成比) | (3.2%) | (3.2%) | | |
| セグメント利益 | 410 | 400 | ▲ 10 | 97.6 |
| 不動産及びサービス | | | | |
| 売上高 | 1,588 | 1,456 | ▲ 132 | 91.7 |
| (売上高構成比) | (1.0%) | (0.9%) | | |
| セグメント利益 | 518 | 633 | 115 | 122.1 |
| その他 | | | | |
| 売上高 | 389 | 429 | 40 | 110.3 |
| (売上高構成比) | (0.3%) | (0.3%) | | |
| セグメント利益 | 60 | 56 | ▲ 4 | 92.4 |

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

③ 食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

| | 平成30年3月期 第3四半期 | 平成31年3月期 第3四半期 | 前期比較 | 前期比 (%) |
|-----------|-------------------|-------------------|-------|---------|
| 連結売上高 | 157,918 | 158,496 | 578 | 100.4 |
| 営業利益 | 17,232 | 17,214 | ▲ 18 | 99.9 |
| 食料品製造 売上高 | 150,856 | 151,540 | 684 | 100.5 |
| 営業利益 | 16,796 | 16,772 | ▲ 24 | 99.9 |
| 菓子食品 売上高 | 91,534 | 90,944 | ▲ 590 | 99.4 |
| 営業利益 | 6,519 | 5,842 | ▲ 677 | 89.6 |
| 冷菓 売上高 | 31,164 | 30,981 | ▲ 183 | 99.4 |
| 営業利益 | 4,323 | 4,043 | ▲ 280 | 93.5 |
| 健康 売上高 | 28,158 | 29,614 | 1,456 | 105.2 |
| 営業利益 | 5,952 | 6,885 | 933 | 115.7 |

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

| | | | | |
|-------|---------|---------|-------|-------|
| 国内売上高 | 140,780 | 141,951 | 1,171 | 100.8 |
| 海外売上高 | 10,076 | 9,589 | ▲ 487 | 95.2 |

| | | |
|-----------------|------|------|
| 海外売上高比率(対連結売上高) | 6.4% | 6.1% |
|-----------------|------|------|